

高齢者の薬に詳しくなって、認知症ケアの腕を上げよう

認知症ケアが上達する薬の知識

大阪
会場

薬によってお年寄りがどう変わるかを知らなければ、
これからの高齢者介護はできない！

神戸
会場

2019年

日時: 4月30日(火) 10:30~16:00

会場: 大阪府社会福祉会館
(505会議室)

(大阪府大阪市中央区谷町7-4-15)

☆地下鉄谷町線・長堀鶴見緑地線「谷町6丁目」下車、
4番出口より南に250m

2019年

日時: 5月1日(水) 10:30~16:00

会場: 神戸市産業振興センター
(801会議室)

(兵庫県神戸市中央区東川崎町1-8-4

*神戸ハーバーランド内)

☆JR「神戸」駅より徒歩5分

< 認知症介護&医療の全てが分かる1日コース >

【講師】

ひがしだ つとむ

東田 勉



フリーライター。介護・福祉・医療分野の綿密な取材をもとに執筆した著書は多数。

2014年に刊行された『認知症の「真実」』(講談社現代新書)はベストセラーに。長尾和宏医師との共著『認知症の薬をやめると認知症がよくなる人がいるって本当ですか?』(現代書林)、村瀬孝生氏との共著『認知症をつくっているのは誰なのか』(SB新書)、近著に『完全図解 世界一役に立つ介護保険の本』(講談社)がある。

へ
プ
ロ
グ
ラ
ム
▽

10:30 ~ 11:30 認知症医療の最前線の動き

なぜ認知症はこんなに増えたのか/海外から批判されている日本の認知症対策/症状による4大認知症の見分け方/高齢になるほど増える合併と移行

11:45 ~ 12:45 抗認知症薬のメリットとデメリット

中核症状とBPSDへの薬の使い分け/抗認知症薬の増量規定/いまさら聞けないアリセプトの作用と副作用/認知症のコミュニケーション障害にどう対応するか

(昼食)

13:45 ~ 14:45 高齢者への薬物療法の極意

第一線の認知症医が導き出した結論/抗認知症薬が認知症を悪化させる/コウノメソッドの画期的な投与方法/リバスチグミンとシロスタゾール/意識障害とせん妄への対応

15:00 ~ 16:00 介護職は何ができるのか

デビルメソッドからお年寄りを救い出せ/声をあげ始めた医師たち/アルツハイマー病の真の問題とは何か/心理学からのアプローチと介護からのアプローチ

*受講料はお送りしません。満員でお断りする場合はみ一週間以内にご連絡さし上げます。

【受講料：7,000円】

*受講料は当日会場で承ります。

主催

なるほどケア塾

〒189-0011

東京都東村山市恩多町3-39-13-101 榎円窓社内

お問い合わせ

☎042-306-3771

お申し込みはこちらへ Fax

Fax: 042-306-3772

<参加人数>

<参加者名>

*施設の場合は施設名もご記入ください。

<住所>〒

(自宅・職場)

<TEL>

<FAX>

4/30(火)大阪

()名

5/1(水)神戸

()名